

## 第3学年 図画工作科学習指導案

### 1 題材名 ここがわたしのお気に入り！

### 2 題材について

本題材は、学習指導要領の第3学年及び第4学年の内容「A 表現」の(1)ア「身近な材料や場所などを基に発想してつくること。」「B 鑑賞」の(1)ア「自分たちの作品や身近な美術作品や製作の過程などを鑑賞して、よさや面白さを感じ取ること。」、そして〔共通事項〕(1)ア「自分の感覚や活動を通して、形や色、組合せなどの感じをとらえること。」と、イ「形や色などの感じを基に、自分のイメージをもつこと。」で構成されている。身近な場所を小さい「わたし」の目で見えて、お気に入りの場所に変え、紹介し合うことで、その場所のよさを味わうことができる学習を設定した。

身近な教室の中で自分のお気に入りの場所を見つけ、その「場所の良さ」という視点を持たせる。身近な場所をもっと面白い場所にするために、小さい「わたし」でしか入ることができない場所や小さい「わたし」だからできることを考える。小さい「わたし」の目で見慣れた場所を見たり、友達の作品を鑑賞したりすることで、見過ごしていた場所に興味を持ち、新たなおもしろい場所の発見をすることができるだろう。

さらに、お気に入りの場所をもっと楽しい場所にするために、小さい「わたし」を飾りつけしたり、物を配置したりする。思い描く楽しい場所になるよう、材料や用具を工夫させる。例えば、窓ガラスに小さい「わたし」を置くことで、外の景色の中に自分がいるような感覚を味わい、この場所でどんなことをしたら楽しくなるか材料を試してみる。本棚の中に迷い込み、大好きな本に囲まれて、いつまでも読書ができる小さい「わたし」を味わうことで、普段見ている本棚がお気に入りの場所になるなど、小さい「わたし」を通して場所の面白さに気付くことができる。

本題材では、お気に入りの場所の色や形をもとに小さい「わたし」を入れた写真を撮る活動を行う。この活動によって、身近な場所を題材にした作品を鑑賞する力を身に付けていく。窓辺に小さい「わたし」を置けば、小さい「わたし」の形や、周りの色はどうするのか、またどんな材料を組み合わせたら、もっとお気に入りの場所になるのか考える。これらの活動を通して、作品を見る力を付けていきたい。

### 3 児童の実態

(省略)

### 4 題材の目標

身の回りにある場所を、小さい「わたし」の目で見えて、お気に入りの場所に変え、紹介し合う。

## 5 題材の評価規準

関心・意欲・態度	発想や構想の能力	創造的な技能	鑑賞の能力
見慣れた場所の新しい面白さを見付けることを楽しもうとしている。	見付けた場所がどのようにすればより楽しい場所になるのか、その場所の色や形などをもとに材料や用具を置いて考えている。	思い描いたお気に入りの場所になるよう、小さい「わたし」の飾り付けや用具の使い方を試し、イメージに合った背景にして撮っている。	お気に入りの場所を紹介し合って、よさや面白さを見付けている。

## 6 題材の指導計画（4時間扱い 本時3／4）

時	主な学習活動	関意態	発想	創造	鑑賞
1	<ul style="list-style-type: none"> <li>デジタルカメラの使い方を知る。</li> <li>学校の中で好きな場所や面白いと感じる場所（お気に入りの場所）を見つけ、撮影する。</li> <li>お気に入りの場所に合った小さいポーズをとって、「わたし」の写真を友達と撮る。</li> </ul>	○	◎	○	
2	<ul style="list-style-type: none"> <li>さらにお気に入りの場所になるよう、場所の特徴を考え、小さい「わたし」に飾り付けをしたり、ものを配置したりする。</li> </ul>		○	◎	○
3 (本時)	<ul style="list-style-type: none"> <li>お気に入りの場所がもっと楽しく面白い場所になるよう、色や形を考えて、飾りつけた小さい「わたし」を置き、写真を撮る。</li> <li>撮影した写真を見合い、場所の良さや面白さに気付くとともに、友達の写真の良さに気付いたり、アドバイスしたりする。</li> </ul>		○	◎	○
4	<ul style="list-style-type: none"> <li>小さい「わたし」のお気に入りの場所を紹介し合う。</li> <li>小さい「わたし」で見た場所の面白さに気付き鑑賞する。</li> </ul>		○	○	◎

※1時間目が終わったあと、教師がデジタルカメラを集め、パソコンに随時写真を取り込み、プリントアウトした写真をラミネート加工しておく。

## 7 仮説との関連

教育メディアの特性を生かして、学習で活用すれば、学習効果が高まるだろう。

### デジタルカメラの活用

(1) デジタルカメラの扱う上での留意点

小さい「わたし」を学校のお気に入りの場所に連れて行き、デジタルカメラで撮影をする。本学級の児童は、学習の中でデジタルカメラを利用したことはほとんどない。そのため、デジタルカメラの使い方や安全な利用について、十分指導をする。

図画工作の教科書の巻末ページにある「しゃしんのとり方」を見ると、「とる時は、シャッターボタンを半おしして、ピントを合わせてからしずかにボタンをおしこむ。」「立ってとる時は、りょうわきをしめて足をひらく。」「しゃがんでとる時は、ひざをつく。」とある。

他にも、安全面や人の迷惑にならないよう、撮影をするときの注意点を指導する。「カメラを見るときは、立ち止まる。」「人や、お店で売られているものなどをしゃしんにとる時は、声をかけてからにしよう。」などを繰り返し指導する。

## (2) デジタルカメラの良さ

デジタルカメラの良さとして、次の3点を考えた。

### ①何度でも撮り直せる。

今撮影した写真をすぐに再生し、さらなる工夫を加えることができる。これによって制作意欲が高まり、もっとこうしてみたいという試みができる。また、友達同士で写真を見合えば、自分では気付かなかったことを発見することができる。

### ②保存することができる。

絵や工作とは違い、長い時間残すことができる。そのため、学習が終わった後も、いつでも見返したり、友達の作品も含めて学習の振り返りをしたりすることができる。本教科だけではなく、他教科でも応用できる。

### ③加工することができる。

撮影した写真をパソコンに取り込めば、新聞やリーフレット、プレゼンテーションなど、さまざまな活動に活かせることができる。撮った写真をもとにお話を作ったり、アニメーションの加工を行ったりすることもできる。鑑賞の力に加えて、発想や創造の力を付けることもできる。

## (3) デジタルカメラを使って鑑賞する力を付ける。

撮りたいものや場所に対して、近い方がいいのか、遠い方がいいのか、高い位置と低い位置ではどう違うのか、上からもしくは正面から撮った方がいいのかなど、撮影位置が変わることで、写真も変化する。自分のイメージするお気に入りの場所になるよう、撮影位置を工夫させる。友達同士で、写真を見合ったり、教師が助言したりすることで、お気に入りの場所のイメージをふくらませていく。

本時では、どの方向や位置から撮影することがいいのか、ものの置き場所や小さい「わたし」をどう置くのか、何度も試したり、児童同士でコミュニケーションを取ったりできるよう、撮影時間を確保し、写真を見合う場を設ける。同じ場所でも撮影の工夫によって、出来上がる写真の印象が異なり、それぞれの良さや面白さがあることを児童同士で紹介し合う。撮影の工夫や改善点に気付くことで鑑賞の力を付け、紹介し合う中で、自分の写真を見直したり、友達の写真にアドバイスしたりするようにする。

## 7 本時の指導

### (1) 目標

- ・身近な場所の形や色をとらえ、小さい「わたし」のお気に入りの場所を見付け、その場所の色や形をもとにしたイメージに合う背景を考え、写真を撮る。

(創造的な技能)

### (2) 展開 (3/4 時間)

時配	学習活動と内容	教師の支援 (・) と評価 (◎)	材料・用具等
5	<p>1. 前時までの学習を確認する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・窓辺をお気に入りの場所にしたから、明るくて、きらきらした場所にしたいな。</li> <li>・大好きな本に囲まれたいな。だから本棚に本を広げたその上に、小さい「わたし」を寝そべっているようにしたよ。</li> </ul> <p>2. 本時のめあてを確認する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・お気に入りの場所になるよう、場所の形や色をとらえたことを確認する。</li> <li>・もっとお気に入りの場所にするために、小さい「わたし」に飾りつけをしたり、ものを配置したりしたことを確認する。</li> <li>・前時までに扱った、デジタルカメラの使い方を復習しておく。</li> </ul>	<p>前時までの作品 児童の写真 さまざま撮り方による写真 大型テレビ</p>
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: fit-content;">                     お気に入りの場所の色や形を考えて、小さい「わたし」を入れた写真をとろう。                 </div>			
5	<p>3. 参考作品を見て、写真の撮り方や材料の工夫に気付く。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・キラキラした感じにするために、光が当たるよう撮っているよ。</li> <li>・本の世界で寝ているようにするために、正面ではなく、下から撮っているよ。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・写真の撮り方では、向きや撮る範囲をどう工夫すれば、お気に入りの場所がもっとおもしろく撮れるのか、提示資料をもとに気付かせる。</li> </ul>	
30	<p>4. お気に入りの場所の写真を撮る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・イメージに合った背景になるよう、個別に声を掛けていく。</li> <li>・背景の色や形を考えて「わたし」の置く場所を変えて、友達同士アドバイスをしながら写真を撮るよう声を掛ける。</li> </ul>	<p>デジタルカメラ</p>
5	<p>5. 撮った写真を見る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・数名の子の写真を大型テレビに写し、どんな工夫をしたのか発表させ、鑑賞する。</li> </ul> <p>◎小さい「わたし」を置き、その場所の色や形をとらえて写真を撮っている。</p>	<p>デジタルカメラ 大型テレビ</p>

		◎友達と撮影した写真を見合い、場所の良さや面白さに気付くとともに、友達の写真の良さに気づき、アドバイスをしている。	
--	--	---	--